

# 歩く宝石オサムシ

飛ばない昆虫のふしぎ発見



チョウやトンボを見ても分かるように、昆虫の良く知られている特徴の一つが「飛ぶ」ことです。昆虫は「飛ぶ」という特徴を身につけたことで、食べ物や繁殖のための場所を探す範囲が広くなりました。しかし、この便利な手段をあえて失い「飛ばなくなった」昆虫がいます。その代表がオサムシです。

今回の企画展では、地域の人たちと行った共同研究を基礎に、「飛ばない」昆虫オサムシの不思議な生態を紹介します。また、オサムシに魅せられたフーブルや手塚治虫などの偉人についてもとりあげます。この展示を見て、皆さんが身近な自然に興味を持って、今すぐフィールドに飛び出したいくなるような展示を目指しています。それでは皆さんをオサムシの不思議な世界へ誘いましょう。

## プロローグ

導入部ではオサムシが息づく夏の雑木林を再現しています。ここでは生きたオサムシを観察したり、その他の

雑木林にいる昆虫を探したりすることができます。大木のウロをくぐると、いよいよ企画展のはじまりです。

## 主展示室

### オサムシの七不思議

プロローグの雑木林を通って展示室内に入ると、自分もオサムシと同じ大きさになったような約50倍の不思議な世界・オサムシワールドが始まります。ここでオサムシの七つの不思議に出会うことができます。

第一の不思議「オサムシ・アイ」では、オサムシの目線でもらえた映像を見ることで、その歩く速さとオサムシ



主任学芸員 八尋 克郎 (陸上昆虫学)  
学芸員 榎 永一 宏 (水生昆虫学)  
主任学芸員 桑原 雅之 (水族生理学)  
主査 橋 孝一 (水産学)



オシマルリオサムシ 北海道渡島半島の山地や丘陵地に生息しています



イワキオサムシ 滋賀県では南西部の山地に分布しています



アキオサムシ 滋賀県の西部にのみ分布しています



ヤマトオサムシ 滋賀県では山地に広く分布しています



エゾカタビロオサムシ 滋賀県では野洲川や愛知川などの河川敷のまばらな草地に分布しています



クロカタビロオサムシ 滋賀県ではブナ林やそのまわりに分布しています

滋賀県のオサムシ



スプラデンスコガネオサムシ *Carabus splendens*  
ピレネー山脈（フランス、スペイン）に分布  
しています



シナカブリモドキ *Carabus lafossei*  
中国（江西省、湖北省、福建省など各省）  
に分布しています



テイオウカブリモドキ *Carabus augustus*  
中国（江西省、湖南省）に分布しています



オサムシレストランのイメージ図  
約50倍の世界でオサムシの食べる様子を紹介します



ファール昆虫記の世界  
『昆虫記』に登場する昆虫観察の様々なエピソードを紹介します



昆虫をかこう！  
達人たちが描いた絵や昆虫の標本を見ながら実際に自分で昆虫の絵を書いてみよう



の暮らす環境を体感していただけます。  
第二の不思議「オサムシを探せ」では、巨大な落ち葉の下に隠れたオサムシを探し出せるようなしなやかな場所になっていて、オサムシがどこにどこに生息しているのかが分かります。  
第三の不思議「オサムシレストラン」では、ミミズやカタツムリの拡大模型が登場します。オサムシの頭部をかぶってカタツムリの中に頭を突っ込んでオサムシの気持ちになってみましょう。  
第四の不思議「地をばう王者オサムシ」では、オサムシが飛ばなくても十分に暮らしていけること、飛ばないことの利点を紹介します。  
第五の不思議「オサムシのからだ」では、オサムシの体のつくりや特徴を多面的に紹介します。  
第六の不思議「オサムシのひみつへーキ」では、噴射の瞬間をとらえた映

像で防御物質の威力を視覚的に紹介します。また、防御物質の匂いを嗅げるようにしています。  
第七の不思議「オサムシカレンダー」では、卵から幼虫、蛹、成虫の生活史を標本やグラフィックで紹介しています。  
**ファール昆虫記の世界**  
ファールはその有名な著書『ファール昆虫記』で、オサムシの観察の様子を詳しく記しています。ここではオサムシに熱中した偉人の一人としてファールを紹介いたします。ファールが観察や実験を行った「アルマスの庭」を再現し、『ファール昆虫記』に登場する昆虫観察の様々なエピソードを紹介します。

昆虫をかこう！

「ファール昆虫記の世界」の展示を通り過ぎると、多くの昆虫の絵が展示されています。これらの中にはオサムシをペンネームにした漫画家手塚治虫が少年時代に描いた原画『原色甲虫図譜』もあります。達人たちが描いた絵や机の上に並んだ昆虫標本を見ながら実際に昆虫の絵を描いてみてください。昆虫の絵を描くことは、昆虫の体の特徴を詳しく観察することにつながります。

オサムシの秘密

日本に産するオサムシ亜族甲虫は約40種ほどですが、この仲間には北半球に広く分布している、全世界からは800を越える種類が知られています。生



シガラキオサムシ  
琵琶湖と伊賀盆地の間に位置している信楽地方の山地にのみ分布しています



マヤサンオサムシ  
滋賀県では県南部と平野をのぞいた山地に広く分布しています



オオオサムシ  
滋賀県では山地に広く分布しています



ヤコンオサムシ  
滋賀県では平野部や河川敷に広く分布しています



ヌノビキオサムシ  
滋賀県では南西部の御在所周辺の山地に分布しています



アイヌキンオサムシ *Carabus kolbei*  
北海道に分布しています



イボハダオサムシ *Carabus scabrosus*  
バルカン半島東部、小アジア半島、カフカス地方、クリミア半島、イラン北部に分布しています



キンイロオサムシ *Carabus auratus*  
ファーブル昆虫記に登場する有名な種。ヨーロッパ中部に分布しています



滋賀オサムシ研究会の人たち  
滋賀オサムシ研究会の調査概要や成果、そして虫好きな人々ならではのおもしろエピソードを紹介します

### オサムシマップ・虫バカ日誌

展示室の中心には、琵琶湖を中心に滋賀県を表した空間が広がります。このコーナーでは、企画展の基礎になっている滋賀オサムシ研究会による滋賀県のオサムシの分布調査概要や成果を収集された標本とともに展示します。また、「虫バカ日誌」コーナーでは、

息環境や生態も多岐にわたり、大きさや形、色彩も日本の種類に比べてはるかに多様です。このコーナーでは、世界レベルでみたオサムシの多様性の一端を多くの標本で紹介いたします。このコーナーの奥に進むと、「秘密のトビラ」があります。オサムシは種類ごとに交尾器の形が決まっています。そのことはよく「錠と鍵」に例えられます。ここではその関係について交尾器の写真や標本で紹介します。

## 水族企画展示

### エピソード

分布調査を行った滋賀オサムシ研究会の人たちを紹介します。虫好きな人々ならではのおもしろエピソードを紹介することで、昆虫採集の魅力や虫に対する情熱などを伝えます。

展示を見てオサムシ、そして昆虫に興味を持った皆さんをフィールドへ誘うためのきっかけづくりのコーナーです。オサムシを採集する方法の一つとして、オサムシトラップのしかけ方、オサムシのいそうな場所の紹介など実際に役に立つ情報を展示します。

## 飛ぶことを忘れた虫たち

### オサムシの暮らし

水族企画展示では、写真パネルやジオラマを使ってオサムシのすんでいる環境を再現し、生きたオサムシを展示するとともに、オサムシのくらしを写真やビデオを使って紹介します。また、ふだん接する機会の少ないオサムシを、手にとつてじっくりと観察できるような展示を行います。

滋賀県にすむオサムシは地味な色合いの物が多いのですが、北海道にはオオルリオサムシや、アイヌキンオサムシなどが

ラフルな種類もすんでいます。海外では、バイオリンのような形をしたその名もバイオリンムシというおもしろい昆虫が、東南アジアにすんでいます。実はこのバイオリンムシもオサムシの仲間なのです。今回の水族企画展示では、これらの昆虫も展示します。特に、バイオリンムシは飼育方法が確立されておらず、国内で生きた物を見る機会にはぜひご覧ください。

第13回 琵琶湖博物館企画展示

## 歩く宝石オサムシ

飛ばない昆虫のふしぎ発見

7月16日(土)～11月27日(日)

場所：博物館企画展示室

琵琶湖博物館水族企画展示

## 飛ぶことを忘れた虫たち

オサムシの暮らし

7月16日(土)～11月27日(日)

場所：博物館水族企画展示室



マイマイカブリ  
滋賀県では平地から山地まですべての地域にとっても広く分布しています



セアカオサムシ  
滋賀県では野洲川や高時川の河川敷の疎らな草地に分布しています



オオクロナガオサムシ  
滋賀県では南西部に分布しています



クロナガオサムシ  
滋賀県では南部をのぞく地域に分布しています



アキタクロナガオサムシ  
滋賀県では山地に広く分布しています